

国立民族学博物館研究報告 vol.10-3; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	10
号	3
発行年	1986-02-22
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009228

1985—10.3号

国立民族学博物館 研究報告

●
巫俗儀礼の音

——韓国濟州島の事例から—— 櫻井哲男

嘉戎語の能格性—— 長野泰彦

中緯度森林の定住民—— 西田正規

パプアニューギニア、イワム族の農耕に関する民俗分類の予備的報告—— 吉田集而

服装専門検索語辞書(MCD シソーラス)の構造—— 大丸 弘、高橋晴子

12イマーム派シーア主義におけるイマーム・アリーの位置について

——イラン人ムスリムの場合—— 嶋本隆光

民族資料の展示におけるクールビームライト照明の影響について(1)—— 森田恒之

Labor Supply and Demand in a Complex System:

Integrated Agriculture-Aquaculture

in the Zhujiang Delta, China—— Kenneth Ruddle



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

10 卷 3 号

1985 年

目次

巫俗儀礼の音

——韓国済州島の事例から——……………櫻井哲男…………… 551

嘉戎語の能格性……………長野泰彦…………… 575

中緯度森林の定住民……………西田正規…………… 603

パプアニューギニア, イワム族の農耕に関する

民俗分類の予備的報告……………吉田集而…………… 615

服装専門検索語辞書 (MCD シソーラス) の構造……………大丸 弘…………… 681
高橋晴子

12イマーム派シーア主義におけるイマーム・アリー的位置について

——イラン人ムスリムの場合——……………嶋本隆光…………… 725

民族資料の展示におけるクールビームライト照明の

影響について (1)……………森田恒之…………… 755

Labor Supply and Demand in a Complex System:

Integrated Agriculture-Aquaculture in the
Zhujiang Delta, China……………Kenneth Ruddle…………… 773

彙報…………… 821

国立民族学博物館研究報告寄稿要項…………… 823

国立民族学博物館研究報告執筆要領…………… 824

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 10 No. 3

1985

SAKURAI, Tetsuo	Musical Sounds in Korean Shamanistic Ritual: A Case Study of Cheju Island.....	551
NAGANO, Yasuhiko	Ergativity of the rGyarong Language	575
NISHIDA, Masaki	Sedentary Life before Agriculture.....	603
YOSHIDA, Shuji	Preliminary Report of Folk Classification on Iwam Agriculture, East Sepik Province, Papua New Guinea	615
DAIMARU, Hiroshi TAKAHASHI, Haruko	The Structure of Costume Thesaurus (MCD Thesaurus).....	681
SHIMAMOTO, Takamitsu	The Position of 'Ali b. Abi Taleb in Twel- ver Imami Shi' ism (Ithnā 'Ashariyya): The Image of 'Ali among Iranian Muslims	725
MORITA, Tsuneyuki	Color Fading under Cool-Beam Spot Light	755
RUDDLE, Kenneth	Labor Supply and Demand in a Complex System: Integrated Agriculture-Aquacul- ture in the Zhujiang Delta, China	773

彙報 (昭和60年7月～
昭和60年9月)

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
秋道 智彌	助手 (第二研究部)	60. 7. 2	60. 9. 1	アメリカ合衆国, ミクロネシア連邦, ソロモン諸島, バヌアツ共和国, フィジー, 西サモア, 仏領ポリネシア, チリ, ボリビア, ペルー
江口 一久	助教授 (第三研究部)	60. 7. 4	60. 7. 30	カナダ
松原 正毅	助教授 (第二研究部)	60. 7. 19	60. 9. 22	中華人民共和国
藤井 龍彦	助教授 (第四研究部)	60. 7. 20	60. 12. 20	ボリビア, ペルー, アルゼンチン
松山 利夫	助教授 (第一研究部)	60. 7. 23	60. 7. 31	韓国
加藤 九祚	教授 (第四研究部)	60. 7. 25	60. 8. 18	ソ連
佐々木史郎	助手 (第一研究部)	60. 7. 25	60. 8. 18	ソ連
石毛 直道	助教授 (第四研究部)	60. 7. 25	60. 9. 3	インドネシア, 台湾
ケネス・ラドル	助教授 (第五研究部)	60. 7. 25	60. 9. 11	インドネシア, 中華人民共和国, フィリピン, タイ
藤井 知昭	教授 (第二研究部)	60. 7. 28	60. 8. 13	マレーシア, シンガポール
杉本 尚次	教授 (第五研究部)	60. 7. 29	60. 8. 7	西サモア, フィジー, トンガ王国
梅棹 忠夫	館長	60. 8. 1	60. 8. 14	中華人民共和国
佐々木高明	教授 (第二研究部)	60. 8. 1	60. 8. 14	中華人民共和国
周 達生	助教授 (第一研究部)	60. 8. 1	60. 8. 14	中華人民共和国
長野 泰彦	助教授 (第一研究部)	60. 8. 1	60. 8. 14	中華人民共和国
栗田 靖之	助教授 (第二研究部)	60. 8. 21	60. 11. 6	インド, ブータン
八杉 佳穂	助手 (第四研究部)	60. 9. 2	60. 10. 18	メキシコ, グアテマラ
大森 康宏	助教授 (第三研究部)	60. 9. 6	60. 10. 6	連合王国, ドイツ, フランス, イタリア, ユーゴスラビア
佐々木高明	教授 (第二研究部)	60. 9. 8	60. 9. 19	オーストラリア, ニューゼーランド
小山 修三	助教授 (第四研究部)	60. 9. 8	60. 9. 26	オーストラリア, ニューゼーランド
大塚 和義	助教授 (第一研究部)	60. 9. 24	60. 10. 26	中華人民共和国
吉本 忍	助手 (第二研究部)	60. 9. 24	60. 10. 11	西ドイツ, オランダ, スイス
梅棹 忠夫	館長	60. 9. 26	60. 10. 7	アメリカ合衆国, カナダ

来館者抄

7月3日 中国陝西省文物保護考察団
 団長 許 汝 州 (陝西省文物局長)
 団員 貴 欽 生 (上海博物館研究員)
 鐘 万 勳 (西安交通大学電機系副教授)
 徐 式 如 (西安交通大学電子工程系副教授)
 潘 維 民 (西北建築設計院電気工程師)

趙 漢 文 (西北建築設計院空調供熱通風工程師)
 張 臘 梅 (陝西省歴史博物館等建処空調動力工程師)
 単 曄 (陝西省博物館助理研究員)
 通訳 苗 雅 軍 (陝西省文物局対外文展処幹部)
 7月4日 中国『故宮博物院展』代表団
 団長 于 堅 (故宮博物院副院長)

- 副団長 金 楓 (文化部文物事業管理局外事処処長)
- 団員 李 毅 華 (故宮博物院“紫禁城”出版社社長)
- 梁 匡 忠 (故宮博物院保管部)
- 翻訳 巨 東 梅 (文化部文物事業管理局外事処翻訳)
- 7月5日 中国友好協会訪日代表团
- 団長 黄 世 明 (中日友好協会秘書長, 中国人民政治協商会議全国委員会委員)
- 秘書長 陳 永 昌 (中日友好協会理事)
- 団員 吳 治 安 (中日友好協会理事)
- 黄 正 軒 (中国人民对外友好協会広東省分会副秘書長)
- 駱 新 華 (中国人民对外友好協会湖北省分会副秘書長)
- 鄭 玉 在 (中国人民对外友好協会上海市分会理事)
- 王 廉 元 (中国人民对外友好協会陝西省分会理事)
- 蘭 庚 未 (甘肅省敦煌県副県長)
- 王 雲 濤 (中日友好協会職員)
- 何 及 鋒 (中国人民对外友好協会職員)
- 7月24日 竹内 黎一 (科学技術庁長官)
- 7月29日 R. Joy HENDRY (連合王国, Lecturer in social Anthropology, Dept. of Social Studies, Oxford Polytechnic)
- 8月1日 金 東 旭 (韓国, 檀国大学校大学院教授兼東洋学研究所長)
- 李 鎔 萬 (韓国, 光云大学行政学科教授)
- 8月2日 Ngangura KASOLE (ザイール, ザイール情報大臣首席顧問)
- 8月9日 Martin WEYL (イスラエル, イスラエル国立博物館長)
- 8月26日 Willard L. BOYD (アメリカ合衆国, シカゴ・フィールド自然史博物館長)
- 8月26日 松永 光 (文部大臣)
- 8月27日 Ella L. WISWELL (アメリカ合衆国, ハワイ大学ヨーロッパ語学科名誉教授)
- 8月30日 熊谷 信昭 (大阪大学長)
- 9月3日 Tim INGOLD (アメリカ合衆国, Senior Lecturer, Department of Social Anthropology, University of Manchester)
- 9月7日 広海 孝一 (一橋大学教授)
- 9月9日 Richard R. RIES (アメリカ合衆国, Deputy Assistant Director of the U.S. National Science Foundation)
- Eduardo FELLER (アメリカ合衆国, Head of Industrial Countries Section, National Science Foundation)
- Alan MILSAP (アメリカ合衆国, Program Manager for US-Japan, Australia and New Zealand Program, National Science Foundation)
- 9月9日 田村すず子 (早稲田大学教授)
- Jose Maria SATRUSTEGUI (スペイン, バスク語アカデミー事務総長)
- 9月10日 中国人民外交学会
- 韓 念 竜 (中国人民外交学会会長)
- 吳 曉 達 (中国人民外交学会副会長兼秘書長)
- 鄭 洪 慶 (国家経済体制改革委員会規制局副局長)
- 黄 智 政 (中国人民外交学会副処長)
- 吳 從 勇 (外交部亞洲司三秘)
- 韋 来 広 (韓念竜会長秘書)
- 趙 静 波 (中国人民外交学会工作人員)
- 9月17日 Peter SEITEL (アメリカ合衆国, Director, Office of Folklife Programs, Smithsonian Institution)
- Alicia Maria GONZALEZ (アメリカ合衆国, Office of Folklife Programs Smithsonian Institution)
- 9月20日 Khamsing SRINAWK 夫妻 (タイ, 作家)
- 9月24日 Claus KERNIG (西ドイツ, トリア大学政治学教授)
- 9月25日 中曾根康弘 (内閣総理大臣)
- 9月27日 Carlos GOROSTIZA (アルゼンチン, 文化庁長官)

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認められた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のスマ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限りに、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]
[Leach 1961: 123]
[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本語の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311-330。

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

- 1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse.
In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language,
The M. I. T. Press, pp. 23–63.

単行本の場合

泉 靖一

- 1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

- 1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

- 1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術——』 堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

- 1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 10卷3号

〔監 修〕

梅 棹 忠 夫

〔編集委員長〕

竹 村 卓 二

〔編集委員〕

永ノ尾 信 悟

大 塚 和 夫

君 島 久 子

ケネス・ラドル

崎 山 理

周 達 生

杉 村 棟

須 藤 健 一

垂 水 稔

中 山 和 芳

八 杉 佳 穂

和 田 正 平

昭和61年2月22日発行 非売品

国立民族学博物館研究報告 10卷3号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園10-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.10 no.3
1985

- | | |
|-----------------------------|--|
| SAKURAI, Tetsuo | Musical Sounds in Korean Shamanistic Ritual:
A Case Study of Cheju Island |
| NAGANO, Yasuhiko | Ergativity of the rGyarong Language |
| NISHIDA, Masaki | Sedentary Life before Agriculture |
| YOSHIDA, Shuji | Preliminary Report of Folk Classification on
Iwam Agriculture, East Sepik Province, Papua
New Guinea |
| DAIMARU, Hiroshi | The Structure of Costume Thesaurus (MCD
Thesaurus) |
| TAKAHASHI, Haruko | |
| SHIMAMOTO, Takamitsu | The Position of 'Ali b. Abi Taleb in Twelver
Imami Shi' ism (Ithnā 'Asharīyya): The Image
of 'Ali among Iranian Muslims |
| MORITA, Tsuneyuki | Color Fading under Cool-Beam Spot Light |
| RUDDLE, Kenneth | Labor Supply and Demand in a Complex
System: Integrated Agriculture-Aquaculture
in the Zhujiang Delta, China |



National Museum
of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X